

平成 19 年 7 月 13 日

会長 前園 実



会員並びに賛助会員の皆様には、益々ご健勝のことと存じます。平素より全国自動車教育研究会の運営に対するご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。日本自動車教育振興財団には、研究会の様々な分野において多大なご支援を頂き深く感謝いたします。

本年度より会長を拝命されました。高等学校自動車科萩原前会長を引き継ぎ、微力ながら三級自動車整備士・一種養成施設の基準改定を始めとする自動車教育の様々な課題に取り組んでまいります。

ところで、最近、初歩的な技術的なトラブルが原因の事故が目立ちます。不十分なエレベータの保守による事故、開園以来一度の保守していなかった遊園地のジェットコースターの脱線事故、ガス検査器無の温泉設備での爆発事故等、このままでは、技術立国の名を返上するしかありません。

この原因の一つは、安全へのコスト軽視、技術力・技術者の軽視にあると考えます。多くの人は、安心して、電車・飛行機や自動車に乗れるのは、暑い日も、寒い日も、電車・飛行機や自動車の下にもぐって整備をしてくれる整備士のおかげであることを意識していません。どんなハイテクの検査機器を使っても、優秀な目利きの整備士でないと故障の原因を見逃してしまいます。

工業高校の責務は、社会に貢献できる優秀な技術者を育てることであり、本会の責務でもあると確信します。